

はじめに

この報告書は、工事名 日本海東北自動車道 弥彦岡橋（PC上部工）工事 対象橋梁 鴻巣橋及び、東関東自動車道 涸沼川橋（PC上部工）工事におけるソケット破損後の、製造方法に関する改善内容及び品質管理方法の改善について詳解したものです。

本事案は、30万個以上の出荷において、過去に経験の無い出来事であり、当初原因となりうる要因の特定に、時間を要しました。専門機関による調査を実施し、原因解明を進めてまいりましたが、その内容は、高度な技術と知識を必要とするものでした。さらに「現地監査」の結果、各分野の専門家が判断すべき多岐にわたる、複合的要因を内包することも判明いたしました。

そこで、社外有識者の方々のご参加をいただき解決すべく、下記のとおり検討会を編成しました。破損のメカニズムを解明し、製造方法や品質管理の方法を改善しました。さらに、その効果を検証し、本報告書をまとめました。

各分野の専門家及び調査会社が指摘する、ソケット破損原因となりうる全てに対し、対策を講じ効果を確認することを基調とし、最善の製造工程・管理へと、改新されたと考えています。

検討会にはご参加を頂きませんでした。編纂に当りご意見を頂いた有識者の方々も合わせ、心から御礼申し上げます。

(検討会)・・・順不同・敬称略

- ・ 山崎淳 検討会座長 日本大学教授
- ・ 池田尚治 株式会社複合研究機構代表取締役 工学博士 横浜国立大学名誉教授
- ・ 池田甫 日本工営株式会社 顧問
- ・ 秋山晴樹 株式会社社長 顧問

以下 アンダーソンテクノロジー株式会社

- ・ 辻陽一郎
- ・ 藤井裕士
- ・ 西田吉孝
- ・ 小野勇
- ・ 菊米國松

(メンバー以外の有識者)

- ・ 中佐啓治郎 広島大学名誉教授 広島国際学院大学教授 工学博士
- ・ 長野博夫 工学博士 技術士(金属分野) 腐食防食専門士 APEC Engineer